



しなの鉄道線沿線地域の「まちの質」「暮らしの質」を一層高めるため「駅まち空間検討会議」を開催します！

「駅」は地域の佇まいや雰囲気印象付ける「顔」であり、しなの鉄道線沿線地域の価値向上や人口誘引に影響を及ぼす重要な空間です。そこで、駅前広場のリニューアルや滞留空間の創出といった居心地の良い駅まち空間を検討するため、沿線自治体と民間企業の合同チームによる「駅まち空間検討会議」を開催します。

背景

県では令和5年度に沿線自治体及び鉄道事業者と「しなの鉄道線沿線地域まちづくり勉強会」を開催してきました。しなの鉄道沿線のまちづくりを広域的に議論する中で、駅および駅周辺の空間活用が検討課題となったことから、この度検討会議を設置します。

検討内容

しなの鉄道線沿線自治体と民間企業の合同チームでデータ分析・現地調査・活用アイデア検討等を行いながら、「しなの鉄道線沿線地域における居心地の良い駅まち空間※とは何か？」を考え、具体化に向けた検討を進めていきます。（今年度5回開催予定）

※駅まち空間について

駅や駅前広場と一体的に、周辺市街地との関係も踏まえ、必要な機能の配置を検討することが期待される空間のこと。

第1回会議

- 日時 : 令和6年8月1日（木）14時30分～17時00分（予定）
- 場所 : 上田駅前ビル パレオ2階会議室
- 内容 : 会議設置の趣旨説明
基調講演 早稲田大学創造理工学部 森本章倫教授
（国土交通省・駅まちデザイン検討会委員等歴任）
- 参加団体 : 沿線自治体、しなの鉄道、上田電鉄等
- その他 : 一般の方の傍聴はできません。
取材希望の方は事前に下記問合せ先の担当までご連絡ください。

UDC 信州は、地域課題の整理や社会実験の企画、市町村間の調整、民間事業者との連携等を図りながら、広域的な視点で市町村のまちづくりをサポートしています。<https://udcshinshu.jp/>

確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～
長野県総合5か年計画推進中



【長野県は「SDGs未来都市」です】



長野県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

（問合せ先）

建設部都市・まちづくり課
信州地域デザインセンター担当 石川、調、羽生田
電話：026-405-4861（直通）
FAX：026-252-7315
E-mail：udc-shinshu@pref.nagano.lg.jp